

人生は9回裏までである。



「こちら総務部便り」が第73号を数える。12回×6年+1回（第73号）である。
パラパラとめくる。こんな記事を第4号に書いた。藻谷浩介さんの2020年1月23日の講演会の一文である。

人生は9回裏までである。

1回	5歳	10歳
2回	15歳	20歳
3回	25歳	30歳
4回	35歳	40歳
5回	45歳	50歳
6回	55歳	60歳
7回	65歳	70歳
8回	75歳	80歳
9回	85歳	90歳

←学校教育の関係者はここまでしか考えていない。

←都会で働く人はここまでしか考えていない。

←農山漁村では、ここらあたりが人生本番。

←高い確率で延長戦がありうる。



私は、いま8回の守備につき、「本業は農業」、「副業は税理士」を掲げ、次の白球を待つ。
なぜ、5歳刻みなのかは、思い出せない。区切りの歳なのだろう。
5月2日、鹿児島へ。芋苗を800本購入、翌日、標高80M(多分?)の丘の上に植栽する。秋には焼き芋屋開店。
5月22日、稲刈の温湯消毒をする。60度のお湯に10分。就労A型ほう・れん・そうの皆さんが土壌を作り、苗箱に稲を蒔き、149箱作る。
今日6月2日、苗は約4cmほどに育ち、ピンと立つ、あと20日も経つと田植え本番である。燕が地上すれすれに舞う。
5月は副業の税理士業務も繁忙期である。税理士であったと覚醒する。
机には、事業再編成の会計に関する書籍が5冊とその再編税制の書籍が3冊、鎮座する。
6月中に1件、7月中に1件、「回答するノルマ」がある。税理士であると自覚する。
今日、星崎製の冷蔵庫がセレクトショップVSU(びゅ)に搬入された。少しかっこいい!、店構えになった。
自家製の旬の野草が並ぶ予定である(あくまで予定、一笑)。
わが愛する農村「朝日が眩しく、夕暮れが鮮やかな旭村(旧)」に朝日ビールが2029年1月に開業する。
ちょうど、80歳。8回を終えるころである、腕がなる。

四ヶ所十郎



～2つのキャッシュ指標②～

前回は、想定外の環境変化に対する企業の資金耐久力を測る「手元流動性比率」と「債務償還年数」をご紹介しました。
今回は、自社の決算書をもとに、これら2つの指標を好転させるための具体的な選択肢について書き記します。

- 手元流動性比率** 【計算式】(現金預金+すぐに換金できる資産)÷月平均売上高
- 債務償還年数** 【計算式】有利子負債÷(営業利益+減価償却費)

【外部調達で手元流動性を迅速に確保】

手元流動性を最も早く高める方法は、金融機関からの借入です。借入(有利子負債)を増やすと債務償還年数が悪化するのでは、と懸念されるかもしれませんが、しかし、備えとして借りた資金を「現金・預金」として手元に留める場合、金融機関は借入金から現預金を差し引いた実質的な借入で評価するためマイナス評価への影響は限定的です。先の読めない今は、金利を払ってでも手元資金を厚くしておくことが有効な防衛策になると考えます。

【内部改善でキャッシュを創出する】

新たな借入に頼らない場合は、貸借対照表の資産を見直します。具体的には、売掛金の回収時期を早める、棚卸資産のデットストックを処分し現金化する、政策保有株(昔からの付き合いで保有している取引先の有価証券など)の売却、遊休資産の売却や見直し、保険積立金の解約・見直しなど、社内で稼働していない資産を徹底的に整理・見直すことが挙げられます。
これらの取り組みによって、新たな借入を増やすことなく手元の「現金・預金」を増加させることができます。さらに、ここで創出した現金を既存の借入金の返済にあてることができれば、有利子負債が減少するため、「債務償還年数」も同時に短縮(改善)させることができます。

スピード優先の外部調達か、筋肉質な財務体質を目指す内部改善か。自社の財務状況や投資計画に合わせて、最適なアプローチを選択することが重要だと考えます。

【貸借対照表】

【資産の部】	【負債の部】
(流動資産)	(流動負債)
現金・預金 〇〇〇,〇〇〇	買掛金他
有価証券←換金できる資産 〇〇〇,〇〇〇	短期借入金←有利子負債 〇〇〇,〇〇〇
売掛金他	(固定負債)
(固定資産)	長期借入金←有利子負債 〇〇〇,〇〇〇
建物他	【純資産の部】
(繰延資産)	(株主資本)
	資本金他

【損益計算書】

【売上高】〇〇〇,〇〇〇÷12ヶ月=月平均売上高
【売上原価】製造業等は減価償却費含む
売上総利益
【販売費及び一般管理費】
役員報酬他
減価償却費
営業利益
【営業外収益】
【営業外費用】
経常利益
【特別利益】
【特別損失】
税引前当期純利益
法人税等
当期純利益

2つの指標に関連性があるものには着色しています。

～前問～

★ Claude×freee

で私はもういない・・・はず

我々の会計業務や税務業務においてもAIの波が押し寄せており、特に生成AI「Claude」と「freee」の組み合わせは反則級の威力を発揮しています。

あらかじめ、プロンプト(指示)を入力しておくことで、チャット画面で処理をしてというだけでアップロードした資料を基に会計処理してくれます。大げさではなく、体感として記帳代行業務の7～8割程度がチャット画面のやりとりだけで完結してしまいます。

「ひたすら入力」「ひたすら集計」といった作業は、あっという間にAIに代替されました。

計算ミスもなく、レスポンスは一瞬。圧倒的なタイパ(タイムパフォーマンス)の良さです。

「ああ、これで私の仕事はなくなるんだな」そう悟った私は少し寂しさを覚えつつも、心の中では「ゆっくり自分の時間を楽しめるぞ!」と密かにガッツポーズをしていました。

・・・しかし、現実はおかしいのです。

AIに記帳業務の8割を奪われたはずなのに、なぜかわらぬ日々を送っています。

タイパは完ぺきなはずなのに、一体これはどういうことでしょうか。



理由は至極単純でした。AIのおかげで1つの作業が爆速で終わるようになると、人間という強欲な生き物は「じゃあ、空いた時間で別の仕事を後6個詰め込めるな」と考えてしまうからです。

加えて、チャット画面で8割が即座に完成してしまうがゆえに、「ついでにこのパターンの資金繰りシミュレーションも出して」「来季の新規事業の予測も作って」など、以前なら時間がかかりすぎて諦めていたような要求まで、際限なく湧き出てくるようになりました。

結果として、AIが爆速で叩き出した「8割の完成品」を大量に抱え込み、残りの2割である「人間による最終判断」や「実行に向けた泥臭い調整」の件数が増加してしまったのです。

便利な道具を手に入れて楽になるはずが、その道具のスピードに急き立てられるようにして、さらに高速回転で働かされているこの皮肉。

タイパを極めた結果、どうやら私たちから「暇」という概念は消え去っているようです。

富松



今日からできるネットワークセキュリティ対策



先月は、インターネットの世界にも「見えない泥棒」が潜んでいること、そして情報を守るための「ネットワークセキュリティ」は、私たちの「家の防犯」とまったく同じだというお話をしました。

今回はその続きです。「自分はパソコンに詳しくないから…」と心配する必要はありません。難しい知識がなくても、今日からすぐにできる「簡単に効果的な防犯対策」を4つご紹介します。

1. 家の玄関の鍵を頑丈にする（パスワードの工夫）

インターネットのサービスを使うときの「パスワード（暗証番号）」は、家の玄関の鍵です。一番危ないのは、どのサービスでも「同じ鍵」を使い回すことです。もし一つの鍵が泥棒に盗まれると、他のすべてのドアまで簡単に開けられてしまいます。

*** 今日からできる対策：

パスワードはサービスごとに違うものにしましょう。「そんなにたくさん覚えられないよ」という方は、「パスワード管理ノート」のようなものにメモし、大切に保管してください。

来月の記事に、パスワードの安全設定、パスワード保存方法や注意等について詳しくお書きしますので、次回の新聞をぜひご確認ください。

2. 偽物の手紙や訪問者に騙されない（詐欺メール対策）

最近、スマートフォンやパソコンに「荷物のお届けです」「電話料金が未納です」「カードが止められました」といったメッセージが届くことが増えました。これは、泥棒が慌てさせて、偽物のサイトに案内し、パスワードや名前を盗み出そうとすることです。

*** 今日からできる対策：

身に覚えのないメールのURL（押せるようになっていてる青い文字）は、絶対に押さないでください。もし「本当かもしれない」と不安になった時は、そのメールから進むのではなく、家族に相談するか、その会社に直接「電話」で確認するのが一番確実で安全です。いつも利用しているサービス提供会社だとしても油断しないでください。

3. 家の壁の穴をふさぐ（アップデート・更新）

スマートフォンやパソコンを使っていると、たまに画面に「ソフトウェアの更新（アップデート）があります」というお知らせが出ます。難しそうに見えますが、これは「防犯のために、家の壁にできた小さな穴をふさぎますよ」という大切なお知らせです。

*** 今日からできる対策：

日々利用になるアプリの「更新」のお知らせが来たら、後回しにせず、早めに更新実行しましょう。特にウイルス対策ソフトの更新です。または古いOSのシステムサポート終了等は早めにサポートする新しいもののへアップデートしましょう。これをこまめに行うだけで、泥棒が侵入する隙間がなくなり、機械がいつも最新の安全な状態に保たれます。

4. 信頼の警備員を雇う（セキュリティソフトの利用）

どんなに気をつけていても、見えないウイルス（悪いプログラム）が入り込もうとすることがあります。そんな時に頼りになるのが、ウイルスを追い払ってくれる「セキュリティソフト」です。

*** 今日からできる対策：

パソコンやスマートフォンには、信頼できるセキュリティソフト(ウイルス対策ソフト)を入れましょう。これが24時間、私たちの代わりに家を見張ってくれる「頼もしい警備員」になってくれます。

まとめ：一番大切なのは「**慌てないこと**」

インターネットの防犯対策は、普段私たちが家でやっている「戸締まり」と同じです。

泥棒は、「焦っている時」を狙ってきます。「今すぐ確認してください!」「お金が引き落とされます!」というメッセージが来ても、まずは深呼吸をして、絶対に慌てないでください。迷った時は何もしないで、身近な人に相談することが最大の防御になります。

基本のネットワークセキュリティをしっかりとって、便利で楽なインターネット生活を安心して過ごしましょう！

フウん



AI に脳みそを**外注**する時代、到来

ー人間の脳はどう変わるのか

生成AIの急速な普及により、人間の脳の役割が大きく変わりつつある。専門家は「脳が退化するわけでも、突然進化するわけでもない。AIとの役割分担によって“使い方”が変化する」と指摘する。その変化は、社会や教育のあり方にも影響を及ぼす可能性がある。

1. 記憶力の低下が進む可能性

AIが暗記・計算・情報検索といった作業を担うようになり、人間の脳は「覚えなくてもよい」状況に置かれている。これはすでにスマートフォンの普及で見られた“デジタル健忘”と呼ばれる現象だ。

・電話番号を覚えなくなった ・道順を記憶しなくなった ・調べれば出る情報を保持しなくなった

AIがさらに高度化すれば、この傾向はよりさらに強まると予測される。

2. 一方で「思考の質」は向上する可能性

AIが雑務を代行することで、人間はより高度な思考に集中できるようになる。

・問題設定 ・判断 ・価値観の形成 ・創造性 ・コミュニケーション

こうした“脳の上位機能”にリソースを割けるようになり、思考の質が向上する可能性がある。電卓の登場で数学者が減らず、むしろ高度な数学が発展した歴史と同じ構造だ。

3. 「考える人」と「考えない人」の格差が拡大

AIを受動的に使う人は、脳の働きが徐々に低下する可能性がある。一方、AIを“思考の補助ツール”として積極的に活用する人は、発想力や判断力が強化される。この結果、「AIを使いこなす人」と「AIに依存する人」の間で、脳の働きに大きな差が生まれると専門家は警告を発している。

4. 長期的には脳の構造が変化する可能性

数十年から数百年という長期的な視点では、AIとの共存が続くことで脳の構造そのものが変化する可能性も指摘されている。

・記憶領域の縮小 ・直感、判断、創造の領域の拡大 ・マルチタスク処理能力の変化

脳の“再配線”が起り、人間の知性のあり方が変わる可能性がある。

5. 脳の未来は「使い方次第」

脳は環境に応じて柔軟に変化する。AIが普及しても、その影響は人間の使い方によって大きく異なる。

・AIに丸投げすれば、脳はサボる ・AIを補助として使えば、脳は強化される

AIは脳を弱らせる道具にも、強化する道具にもなり得る。その分岐点は、私たちがAIとどう向き合うかにかかっている。

AIが覚えてくれるからといって、人の名前など、大事なことを忘れないように意識して使いましょう。

辻 直英



AI と税理士と（パートⅢ）

前号パートⅡより続きです。

2027年は「士業大淘汰」の年になる？ それでも現役税理士が「AIのおかげで"本来の仕事"に戻れる」と語るワケ

斎藤 健二：金融・Fintech ジャーナリスト

AIがさまざまな局面に入り込んでくる世の中、税理士をはじめとした「士業」も例外ではない。

「AIの税務知識、もう私より上かもしれません」——。そう語る税理士がいる。セブンセンス税理士法人でディレクターを務める大野修平氏だ。

——知識では勝てない、申告書もやがてAIに、となると、税理士は何をすべきなのでしょう。

まず、自分の業務においてはまだAIに超えられていないと言いたくなる気持ちはよくわかります。ライターもマーケターも、みんなそう言いたいんです。でもそんなことはなくて、そこをまず認めることが重要だと思っています。

認めたうえで、じゃあ何ができるか。私たちがやろうとしているのは伴走です。事業計画を作るとか予算を管理するとか、そういう知識や企画提案はAIのほうがうまい。

私もスタートアップのメンタリングを長くやってきて、事業計画書を作るのは税理士・会計士の中では得意なほうだと思っていたんですが、この3年でAIにあっていう間に抜かれてしまいました。

だったらAIにAプラン、Bプラン、Cプランを出してもらって、社長と話しながら「どれでいきますか」と決める。「大野さんだったらどう思う」と聞かれたら「社長、以前こうしたいとおっしゃってましたよね。だったらこのプランじゃないですか」と返す。

マイルストーンもAIに書いてもらって、「今週これをやりましょう、来週確認に来ます」と言う。それが伴走だと思っています。

AI時代に人間が担う重要な役割

——難しいことはAIに任せて、背中を押す役割ということでしょうか。

人間は弱いんですよ。今週やると決めたことでも、サボってしまう。目覚まし時計のスヌーズを毎朝止め続けても時計に嫌がられるわけでもないですし、止めても誰にも怒られない。でも人間相手だったらそうはいかない。

「来週来ますからね」と言われたら、やっておかなければという気持ちになる。経営者だって同じです。AIがいくら優れた計画を立てても、それを実行させられるのは人間だけです。

——若い世代の税理士には、どう伝えていますか。

「AIに記帳や決算、申告を奪われる」と言いますが、そもそもそれがしなくてこの仕事を選んだわけじゃないですよ。もともと、いろんな会社の社長の経営の役に立ちたくてこの仕事を選んだはずで、記帳・決算・申告はその手段でしか

なかった。それはむしろいい話じゃないかと思っています。

税理士資格がなくても活躍できるフィールドは広がっています。ただ、経営者から「あなたに伴走してほしい」と言われる人間になれるかどうか。知識ではなく、人間としての信頼を積み上げていけるかどうか。そこが問われる時代になったということだと思います。

AIに任せられる部分はAIに任せ、その先を社長と話しながらまとめていく。計画を実行するのはやはり人間だから、それを後押ししていく。そのためには、私たちは、人間として信頼される必要があります、人間力をより向上させていく必要があります。

AIが仕事を奪うのではなく、単に、作業や知識を提供する時代ではなくなり、社長とともに伴走し、社長の信頼を得、安心を引き出していくという、本来の姿（仕事）に戻れる良い機会であり、人間として進化し、人間力を磨きあげていく時間（時代）になったのだと改めて想いを強くしています。

四ヶ所 直樹

～コミュニケーション～



1年で一番決算の法人が多い3月決算が終りホッと一息です。

4月末からのゴールデンウィークで、働く日数が少ないのもあり、5月も忙しかった～。

仕事が忙しいと、会話も無くなり、皆黙々と仕事をしていますよね。

でも、忙しい時ほど**雑談**が必要と言われているのをしていますか？

忙しいと人は、「仕事ややることに追われる」「用事の会話ばかりになる」「孤独感を感じる」「心に余裕がなくなる」（確かに忙しいとは「心を亡くす」と書きますから）状態になりがちです。

職場でも、雑談があると「空気が柔らかくなる」「相談しやすくなる」「ミスやトラブルを共有しやすい」「信頼関係ができやすい」という面があります。

逆に、仕事の話ししなかったら、人間関係が機械的になって精神的に疲れると思います。

だから雑談は「無駄話」ではなく**心のクッション**みたいな役割をしているのだと思います。

特に真面目な人ほど、「雑談している場合じゃない」と思いうすいけれど、実はそういう人ほど少し力を抜ける会話が大事だったりします。

当事務所はというと・・・大体、雑談の中心にはT氏がいて、かわいいFさんにセクハラまがいの話をすれば、私からしょっちゅう注意され、だからと反省し落ち込むことなく、別の話のときは、M氏からツッコミされて、みんなで爆笑！！みたいな感じで、当事務所のクッション的な役割は間違いなくT氏ですね。

皆さんの職場はどんな感じですか？

～北原～



【デジタル版だと文字の大きさも自由自在!】
こちら総務部便りデジタル版を配信ご希望の方は
コチラの登録フォームからどうぞ! >>>>>>

